

和井内 太喜さん



わいない たいきさん／平成11年9月生まれ、津別町役場勤務

青春

くろーずあつぶ

4月から津別町役場に勤務している、新人職員の和井内太喜さん。職場では住民企画課住民環境グループに所属し、ごみ収集事務、公衆浴場やペット飼育の管理など、暮らしに直結した環境衛生業務を担当しています。部活ではバスケットボール部に所属し、主に別中学校から北見緑陵高等学校に進学します。部活ではバスケットボール部に所属し、主にガードで活躍。3年生の時には全道大会にも進出しました。

高校卒業後の進路は、地元に残って地域に貢献したい、との思いで津別町役場を志望しました。勤めて半年が過ぎ、「最初は問い合わせに答える際、確認の時間がかかるなど、慣れない部分もありましたが、環境衛生担当者として、住民の皆さんにごみ分別などをきちんと周知できるよう頑張ります」と抱負を話してくれました。バスケットボールは今も役場のチームで続けており、週1回の練習に参加しています。



まつだいら えつこさん／京都市生まれ／達美在住

知温新故

【486】

幼保教育に尽力

松平 悅子さん

「1歳5か月の子どもを抱えて、地図でしか知らない北海道に来たときは、不安でいっぱいでした」と、若き日を振り返る松平悦子さん。

京都市で生まれ育った松平さんは、京都の西本願寺で御勤めをしていた、津別町出身の松平宗純さんと縁あって結婚。その後、ご主人の実家・佛願寺の住職を務めるお兄さんからお寺の手伝いを頼まれ、一家で津別に移り住むことになります。京都から列車と青函連絡船を乗り継ぎ、津別に着いたのは昭和28年8月1日のことでした。

最初のうちは慣れないことばかりで、特に冬に向けての薪準備などには苦労したそうです。それでも住めば都。北国の暮らしにも徐々に慣れ、たくましく家事や子育てに奮闘します。

翌昭和29年には、ご主人が佛願寺の隣に葵幼稚園を開園します。京都の女学校を卒業後、親戚関係にある鞍馬寺の保育園で勤務経験があつた松平さんも、一緒に働き、夫婦二人三脚で園を運営します。昭和35年には町の委託で託児所を開設。その後、幼稚園と託児所は新町に移転し、託児所は「へき地保育所」となります。松平さんは保育所主任として、また社会福祉協議会役員を務め外に出る機会が多くなったご主人に代わって、幼稚園の園長代理を務めるなど、施設のために力を尽くします。

幼稚園と保育所の運営は多忙を極めました。「大変でしたが、やり甲斐はありました。お子さんを預かっている間は、事故がないよう常に気を配っていました。終業時間が過ぎた幼稚園の園児を、保護者が仕事を終えて迎えに来るまで保育所で預かつた。終業時間が過ぎた幼稚園の園児を、保護者が仕事を終えて迎えに来ます。子どもたちが通っていた時期もあり、葵幼稚園だけで、送り出した卒園生は100人を超える子どもたちがいましたよ」。

幼稚園と保育所の運営は多忙を極めました。「大変でしたが、やり甲斐はありました。お子さんを預かっている間は、事故がないよう常に気を配っていました。終業時間が過ぎた幼稚園の園児を、保護者が仕事を終えて迎えに来ます。子どもたちが通っていた時期もあり、葵幼稚園だけで、送り出した卒園生は100人を超える子どもたちがいましたよ」。

暮らしを支える
税
納付のお忘れは
ありませんか？

10月1日（月）までに左記の納期限が到来しています。

町道民税	1期～2期
固定資産税	1期～3期
軽自動車税	1期～4期
介護保険料	1期～2期
後期高齢者医療保険料	1期～4期

役場から届いている納付書を確認していただき、納期限が過ぎているものがありましたら、至急納付をお願いします。納期限を過ぎますと延滞金の計算の対象となり、納付する税額や納付日により本税のほかに「延滞金」も納めていただくなってしまいます。

納期限後、納付されていない税があると『督促状』を送付します。それでもなお納付せず、そのまま放置しておくと、給与、預貯金、財産等の差押えをすることがあります。納期限までに納付できない方は、そのまま放置せず、役場収納担当で納税相談されるようお願いします。口座振替を利用されている方は、通常は納期限（郵便局は25日の引落しになりますので、振替日前までに口座の残高の確認をお願いします。残高不足で口座振替ができない場合は納付書（役場収納担当で再発行します）で納付していました

秋の味覚



冬に向けて食欲が増え、色々な食材も実る時期です。

《この時期のおすすめ食材》

きのこ：低エネルギーで、きのこの食物繊維のベータグルカンには強い抗がん作用があるといわれています。

栗：たん白質やでんぷん質が多く、カリウムも多く含まれています。
かぼちゃ：ベータカロテンが豊富です。免疫力を高めます。

鮭：ピンク色の身はアスタキサンチンという抗酸化作用のある魚です。
さんま：青魚の代表格ですね。必須脂肪酸のDHAやEPAは動脈硬化予防が期待できます。

野菜を食べよう、1日350g！

クイズ・野菜を知ろう（番外編）：実は、食品成分表の上では野菜には分類されていませんが、野菜と同じ量のビタミン類を摂取できる食材です。スナック菓子やハンバーガーの付け合せになっていたり、カレーにも欠かせないものですね。ビタミンCは糖質で守られているので加熱しても壊れにくく、冬のビタミンC補給に一役かっています。
※答えは6ページの下にあります。

3回目の
「冬野菜の料理教室」
の参加者を
募集します！

日時

11月2日（金）

午後6時30分～午後8時

場所

町民会館

申込期間

10月9日～
10月25日申し込み・
問い合わせ先

保健福祉課

健康推進担当⑩番窓口

☎ 76-2151（内線231）

